

週 報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 7 年 4 月 6 日



豊中ロータリークラブ

第 3040 例会

第 2634 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2024～25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー・アーチック
(マクマーリー・ロータリークラブ)

Rotary
Toyonaka



2024.7～2025.6
会 長 眞下 節
副 会 長 村司辰朗
幹 事 米田 眞
雑誌・広報・会報委員長
小寺潤一

本日（4 月 6 日）のプログラム

「春の親睦家族会と職場見学」

永平寺—黒龍酒造—丸岡城



次回（4 月 22 日）のプログラム

「大阪大学理学研究科における D&I の取り組みについて」

卓 話 担 当： 近 藤 忠

会長の時間

「春の家族会と職場見学」

2024-25 年度 会長 眞下 節

これまで、毎年秋の家族会に合わせて職場見学を行ってきましたが、事情により今年は春の家族会に合わせて職場見学を開催することとなりました。今年の職場見学は福井県永平寺町にある日本酒蔵元の黒龍酒造です。1894 年に水野酒造場として創業したころから黒龍川にちなんで黒龍の銘柄を販売していたそうです。2005 年に兼定島酒造りの里を建設して徹底した原酒の低温熟成を実現しました。後ほど、黒龍酒造が経営する「ESHIKOTO」のレストランで昼食と一緒に楽しみいただければと思います。

最初の訪問先は永平寺です。永平寺は、永平寺町にある禅宗の仏教寺院で、總持寺と並んでわが国における曹洞宗の中心的な大本山です。ご存知のように開山は道元で、本尊は釈迦如来・弥勒仏・阿弥陀如来の三世仏です。道元は出家して比叡山延暦寺に上った後宋に渡って景德寺の如浄に入門し、ひたすら坐禅に打ち込む只管打坐（しかんたざ）の禅風を継いで帰国し、1244 年に永平寺を開創しています。寺号の由来は、中国に初めて仏法が伝来した後漢の明帝時代の元号「永平」からとったもので、意味は「永久の和平」だそうです。

最後に丸岡城を見学します。丸岡城は坂井市丸岡町にある古い天守が残る貴重な城で、国の重要文化財にも指定されています。1576 年に柴田勝家の甥にあたる柴田勝豊によって築城されたもので、屋根を石瓦で葺くなど戦国時代の古風な建築様式が特徴的です。江戸時代以前の天守が残る城は日本全国で 12 城のみということもあり、丸岡城は大変貴重な城だそうです。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事 務 局：9 時～15 時（土日祝を除く）

H P ア ド レ ス： <https://toyonaka-rc.jp>

メー ル ア ド レ ス： jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3039回	第3036回
例 会 日	4 月 1 日	2 月 18 日
① 会員数 A	29	29
(内出席免除者)	6	6
② 出席義務者数	23	23
③ 出席義務者出席数	14	16
④ 出席免除者出席数	3	2
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	9	7
出席率 %	65.38%	76.00%

出席率 (3039回) ③+④/②+④ 出席率 (3036回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

幹事報告とニコニコ箱報告は次の週報にて報告いたします。

掲 示 板

- ・大阪万博開幕祭 開場 15:30 開会 16:30
場 所：大阪国際会議場 5階 メインホール
- ・大阪中之島 RC、豊中 RC 連携シンポジウム開催
日 時：2025 年 4 月 17 日 (木) 15:00～16:30
場 所：中之島フェスティバルタワー12 階
「朝日カルチャーセンター」
ご登録：朝日カルチャーセンター (06-6222-5222)
戸田クリニック (06-6387-4114)
お電話でご登録ください。

※関西万博 2025 エクスカーション
6/12 のチケットを購入しますので
ご参加頂ける方は事務局までお知
らせください。



黒龍酒造

江戸時代後期、1804 年(文化元年)、初代蔵元の石田屋二左衛門以来、手造りの日本酒を追求してきた「黒龍」は、水質に優れた土地柄や松岡藩が奨励したことから、全盛期には酒蔵が 17 蔵を数えたが現在は黒龍酒造と他の 1 蔵だけとなった。吉田郡は霊峰白山の雪どけ水がろ過され、九頭竜川の伏流水として流れ出る地域で、伏流水はやわらかな吟醸酒の仕込みには適しているのである。

黒龍酒造の他の蔵にはない特徴は、創業時から継承してきた独自の技術と最新の技術を融合させ、温故知新の酒造りに挑戦する酒造である。現在の七代目蔵元水野正人は、ワイン造りにも興味を抱きフランスやドイツを歴訪し、日本酒をワイン同様に熟成できないかと試行錯誤を続け高品質な酒造りを追求し続けている。

豊中 RC 春の家族会と職場見学行程表

- 7:30 豊中駅前出発
- 10:30—12:10 永平寺(拝観) 参道散策
- 12:30—15:00 黒龍酒造エシコト 昼食・見学
- 15:20—16:00 丸岡城(さくら祭り)
- 17:00—17:30 日本海さかな街(買い物)
- 20:00 豊中駅着(蛍池経由)



永平寺

永平寺(えいへいじ)は、福井県吉田郡永平寺町にある、曹洞宗の仏教寺院。總持寺と並んで、日本における曹洞宗の中心寺院(大本山)である。山号を吉祥山と称し、開山は道元、本尊は釈迦如来・弥勒仏・阿弥陀如来の三世仏である。寺紋は久我山竜胆紋(久我竜胆紋・久我竜胆車紋)である。また専門僧堂、本山僧堂が置かれている。

日本国内に現存する十二天守のひとつ 丸岡城

丸岡城が築城されたのは 1576 年。柴田勝家の甥子・勝豊が築城しました。柴田勝家は織田信長の家臣として、越前国(福井県)を拠点にして北陸地方で戦っていました。勝家の居城は北庄城で、丸岡城は北庄城を守るお城(支城)としての役割で築城されています。

築城から 6 年後、明智光秀が信長を討った本能寺の変が起こります。本能寺の変で信長と跡継ぎの信忠が死んでしまったので、後継者を決める会議が清洲城で行われました(清洲会議)。この会議で柴田勝家は越前と近江国の北部を領地として与えられました。

そのため、柴田勝豊は丸岡城から長浜城へ移り、丸岡城では安井家清が新たに城主になりました。

その後、信長亡き後の織田家内での主導権争いで、勝家は居城の北庄城を豊臣秀吉に攻められ自害。越前は丹羽長秀が治めることになり、長秀家臣の青山宗勝が丸岡城主になりました。